



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY

第30回例会(2月22日)
平成25年3月1日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10
川徳デパート内
例 会 場 同上 TEL(651)1111(代)
FAX(653)5622
例 会 日 毎週全曜日12時30分～

会 長 藤村 文昭
幹 事 佐藤 重昭
会 報 福田 荘介
クラブ直通電話 TEL(653)5682

奉仕を通じて平和を Peace Through Service..... RI会長 田中作次

会員卓話

「盛岡ロータリークラブ創立記念卓話」



(株)東北堂 代表取締役会長

川村 登 君

(1) ロータリーの起源と発展

○国際ロータリー

明治38年(1905)2月23日、アメリカのシカゴ市で青年弁護士ポールハリスが経済恐慌で人心が荒廃しているのを憂え職業の異なる3人の友人と語り合い持廻りで週1回会合を開いたのが始まりで世界中のクラブの連合体。世界で200国以上、クラブ数34,400、会員数122万人。

○日本のロータリー

大正9年(1920)米山梅吉氏が東京RCを創立したのが最初ですが第二次世界大戦時に国際ロータリーを脱退し、戦後復帰し拡大発展してきた。現在、34地区、クラブ数2,288、会員数88,925人(最高時13万人)。

○盛岡ロータリークラブ

昭和14年(1939)2月23日会員15名で創立し、スポンサーは東京RCと仙台RCで全国で34番目。東北では郡山、仙台に次いで3番目の誕生で日本で最少のクラブでした。会長は岩手殖産銀行頭取の板井賛次郎氏で、例会日は木曜日、例会場は公会堂談話室、事務所は岩手殖産銀行に置くことを決めました。盛岡RCは早急に会員20名にすることが承認の条件でしたので1年以内に後に盛岡市長になられた小泉多三郎氏と新聞関係ということで私の父の川村誠三が入会して17名になり、その後、阿さ開の村井源三氏と岩銀副頭取の安彦要氏が入会し19名になりました。

しかし昭和12年に日支事変(日中戦争)が既に開戦しており、国際情勢も悪化し、RCはスパイ活動をしているのではないかと憲兵に調べを受ける事態になり遂に昭和15年9月全国のRCは解散を余儀なくされました。

しかし盛岡RCは発足後1年7ヶ月でしたが、折角奉仕の理想を掲げ友情を深めてきたのに勿体ないと解散せず、盛岡木曜会の名前で戦時中も終戦後も会合を続け全国でも珍しいケースでした。会員名簿によると昭和20年終戦の年、第7代目の会長を父の川村誠三が務めています。戦争末期と終戦後の混乱期は食糧も配給制で外食券を持参して例会に出ていたと聞いております。

その後、昭和25年3月、社会も落ち着いてきて国際ロータリーに復帰承認された日本のRCは再出発になりました。盛岡RCも会員が30名を超え、例会場も公会堂から肴町の川徳デパートに移り例会日は金曜日になりました。(木曜は川徳の定休日)

戦後の経済成長発展にともない全国のRC数も会員数も拡大増加し、県内でも盛岡RCがスポンサーになり、村井源一、安彦要、佐藤武夫氏が特別代表として釜石、花巻、盛岡北など県外では青森、八戸RCを設立し合計15クラブに及び、更に孫クラブも生れるようになりました。盛岡RCは昭和55年(1980)には会員が100名を記録し川徳の菜園移転にともない例会場も菜園の川徳ダイヤモンドホールになり

ました。平成元年（1989）千葉信会長の時に創立50周年を迎え記念式典を行い記念誌 Big Friday を刊行しました。

平成7年には南部利昭会員が2520地区のガバナーに就任し会員増強と出席率向上に努め各奉仕委員会活動も活発化しました。翌平成8年、私が会長の時会員が124名になり最高数を記録しましたがその後経済環境の変化で減少に移り現在に至っております。

平成11年（1999）南部パストガバナーが二度目のガバナーに就任し盛岡で地区大会を開催しました。南部パストガバナーはその後、請われて靖国神社の宮司に就任し戦時中、国のため命を捧げた英霊を弔いました。

平成16年（2004）小川惇会員が4人目のガバナーに就任し、国際ロータリーは100周年を迎えました。

平成21年（2009）長野会長のもと盛岡RCは、創立70周年記念式典を挙行し五委員会が活発な奉仕活動を続けてきました。盛岡RCの環境への啓発と実践については環境保全ポスターの作成配布と市内各地でのシダレザクラやカツラの植樹があります。

平成23年3月の東日本大震災に際しては盛岡RCとして沿岸のRCと被災住民の皆様への支援活動を積極的に行いました。来年、平成26年（2014）盛岡RCは創立75周年の節目を迎えます。

(2) エピソード

●某日訪問

私は昭和46年に40歳で入会し最初は会報委員会に配属され翌年委員長に選任されました。当時の会報は現在と同じ4頁で1面が例会記事、2面・3面が卓話、4面が会員随筆ロータリー情報で委員5名が各週を分担していました。4面の原稿が仲々集らず、待っていないでこちらから歩くことにし会員の家庭を訪問し取材することにしました。日曜日は、テープレコーダーとボラロイドカメラを持参して訪問し「私の座右のことば」「健康法」「好きな食物」「趣味・特技」「奥様の言葉とご主人の採点」を頂きお二人の写真と一緒に会報4頁目に掲載しました。約50名の会員を取材し会員の人物や家

庭が分ると好評でしたが尻込み辞退される方も二、三ありました。今なら個人情報で難しいでしょうが当時は会員相互のコミュニケーションを深めるのに多少役立ったかなと思うと共に、私にとっては諸先輩から人生訓や事業経営の心構えなど教えて頂き有意義な体験でした。

●昭和会

盛岡RCは昭和40年頃、一時夜例会を第4金曜日に実施した所、不評で廃止したことがありました。当クラブは年配会員が多く若手会員は多少窮屈に感じる事が多く昭和47年村井研一郎、石川育成会員が提唱し昭和生れで昭和会を結成し年祝い（42歳）、ゴルフ練習会、利き酒会などを行い夜に集って酒を飲みながら語り合い早くRCになじむようにしました。20名程が参加していましたが次第に昭和生れが増え昭和53年頃、目的を達成したとして解散しました。現在は皆昭和生れになり大正生れは鈴木貞雄会員だけになりました。将来、平成会が生れるでしょうか。

●三奇人（貴人）四変人

私は奇人を貴人と読み皆さん知識豊富で特殊才能に秀でた方々だと思ってます。

○福田常雄氏（岩手放送専務、最高顧問）

弁舌、文章爽やかにして絵画、彫刻に秀で多才。会員全員の肖像画を描き会場に展示し、1万円ずつ徴収し歳末助け合いに寄付しました。

○橋本昌幸氏（橋本農場場主、植物学者）

父親は鶏の品種改良研究家の橋本善太氏。昌幸氏は植物の品種栽培に取組み、サニーレッドコスモス（赤いコスモス）の新品種を発表し世界的権威のあるゴールドメダル賞を受賞しています。自然人、自由的発言はユニークで盛岡RCの周年記念のシダレ桜の寄贈植樹に貢献されました。

○石川育成氏（石川外科クリニック院長、岩手医師会長）

昭和会の発起人でメイクアップは邪道とホームクラブだけ出席した。私が会長の時、出席率向上をお願いすると申訳ないと即座に10万円のニコニコボックスを出された。新年会などには夢想神伝流四段の居合道を披露されました。

○岡宏氏（弁護士）

岩手大学獣医学科卒業後、東北大法学部を卒業し弁護士となる。寸鉄、真実を突いて人を刺

すブラックユーモアもユニークでした。ある席で岩大学長との間で「石川啄木と宮沢賢治はどちらが偉いか」で激しい論争をしているのを見たことがあります。

以上四名の共通点は知識豊富で行動力とバイタリティのある方々で盛岡 RC は伝統的に多士済々だったと思います。

●盛岡 RC の事務局

昭和 25 年に第二次承認を得て再出発した盛岡 RC は例会場と事務所を川徳に移し今日までお世話になっております。最初は肴町の旧社屋の総務秘書室に事務所を設置し笹島瑞雄氏（後に盛岡信用金庫理事長）や晴山好道氏（後に川徳一番館専務）の皆様にお世話になり、昭和 33 年に入社した長内敦子が社長秘書兼ロータリー担当となり女性事務局第一号として RC の事務処理や例会の世話をするようになりました。当時私は盛岡青年会議所の専務理事をしており事務所のあった商工会議所が移転工事することになり困って初代理事長だった川村徳助社長に相談した所、川徳のロータリー事務局と一緒にやるようにと言われ長内敦子と知り合い、その後裏千家のお茶の先生のお世話で、昭和 34 年現天皇と美智子皇后のご成婚と同じ年に結婚しました。当時、川村徳助社長からは「これから秘書として育てようと思っていたのに登君にさらわれてしまった」としばらくの間ぼや

かれました。それから数名の方々が事務局を務め盛岡 RC を支え、現在山上実知代さんにお世話になっております。山上さんは 10 年以上のキャリアです。

●鈴木貞雄会長と川村登幹事（昭和 50 年）

昭和 50 年鈴木貞雄会長の時、私は幹事を務めました。鈴木会長は几帳面な方で、例会その他皆出席で幹事の私は助かりました。現在鈴木会員は 91 歳、57 年間皆出席で全国に誇る人財です。いつも A テーブルに並んで座り「老々介護」みたいですが宜しくお願ひ致します。

(3) 盛岡 RC 創立 75 周年と今後の活動

盛岡 RC は来年創立 75 周年を迎えます。歴史と伝統ある盛岡 RC は先人の偉徳を偲び伝統の上に新しい血を導入し今後 80 周年、100 周年に向って力強く歩んで行かねばなりません。

最後に一言「ロータリーに客席はありません。1 人 1 人がロータリーの舞台でより良い活動を楽しみましょう」

- ◎Big Friday 盛岡 RC 創立 50 周年記念誌
 ♪ 別冊(回想のテーブルスピーチ)
 ♪ 盛岡 RC 創立 60 周年記念小誌
 ♪ 盛岡 RC 創立 70 周年記念小誌



【資料（敬称略）】

◎盛岡 RC 出身盛岡商工会議所会頭（10名）

中岡孫一郎、小泉多三郎、雫石隆孝、其田末五郎、池野権治、熊谷松男、川村徳助、石井富士雄、佐藤光、齊藤育夫

◎盛岡 RC がスポンサーになったロータリークラブ（15）

釜石 RC、花巻 RC、盛岡北 RC、宮古 RC、一関 RC、大船渡 RC、北上 RC、水沢 RC、岩谷堂 RC、二戸 RC、陸前高田 RC、久慈 RC、青森 RC、八戸 RC、花輪 RC

◎盛岡 RC 永年会員（30年以上）○印は皆出席

○鈴木 貞雄 昭和 31 年（1956）
 熊谷 昭三 昭和 32 年（1957）
 山口徳治郎 昭和 40 年（1965）
 村井研一郎 昭和 41 年（1966）
 ○川村 登 昭和 46 年（1971）
 ○佐藤 義正 昭和 49 年（1974）
 ○若松 清三 昭和 49 年（1974）
 工藤 博司 昭和 49 年（1974）
 小川 惇 昭和 51 年（1976）
 ○吉田 育弘 昭和 51 年（1976）
 柴田 義春 昭和 53 年（1978）
 盛田洋太郎 昭和 54 年（1979）

例会報告

第 30 回例会

平成 25 年 2 月 22 日（金）

於 川徳 12時30分 開会点鐘

- ・司会 藤村文昭会長
- ・ソング 手に手つないで
- ・入会祝 西島光茂君。
- ・誕生祝 小川英行君。
- ・結婚祝 小川英行君。
- ・会長報告 藤村文昭会長
- ・幹事報告 佐藤重昭幹事

【ニコニコ BOX】

- ◆小川 英行君…長期の「例会欠席」を経て、今日の「創立記念例会」に出席できたことを喜び、少しばかりの安堵感とともにニコニコいたします。また皆様に種々ご迷惑をおかけしたことを、この場を借りてお詫びいたします。
- ◆米内 正君…先日NHK総合テレビの朝 8：15からのあさイチの番組で歯周病について45分放送がありました。放送は歯周病の原因、治療方法、予防について一般人によく分かるように構成されてい

て、たいへん素晴らしい内容でした。自分の診療に役立たせたいと思いました。NHKのスタッフに感謝申し上げニコニコいたします。

- ◆鈴木貞雄君…今日の会合に参加出来た事に感謝して。
- ◆平井 滋君…今日、1972年 8 月 25 日の40年前、私が高校 3 年の頃のクラブ会報のコピーをいただきました。会報委員長さんは本日の記念卓話をいただきました川村登会員です。当時は会員訪問があったようで両親（平井冽（きよし）・篤（あつ））の40歳台の頃の若い写真とコメントが掲載されており、なつかしい気持ちになりました。この会報には当時の出席義務の厳格さを物語ることが 2 点あります。現在と同規模の会員数で欠席した会員名と「出席の四つのテスト」なるものが掲載されております。ビッグフライデーとともに手元に保管させていただきます。
- ◆平野佳則君…1972年の会報、某日訪問頂きました。父、平野啓三のひとりとなりを改めて感じる事ができました。心より感謝申し上げます。
- ◆村井研一郎君…1972～1973年時會報の某日訪問のコピー頂きなつか

しく拝見。

- ◆藤村文昭君…川村登さん、すばらしい記念卓話をありがとうございました。これからも盛岡クラブ創立の「思い」を忘れず仕奉活動に努めたいと思います。
- ◆佐藤重昭君…川村登会員の創立記念卓話、盛岡ロータリーの歴史を短い時間でわかりやすく教えて頂き誠にありがとうございました。祖父の事にもふれて頂き、感謝申し上げます。
- ◆川村 登君…本日は盛岡RC創立 74 周年記念卓話をさせて頂き有難うございました。盛岡RCには父誠三が30年、私が42年、家内敦子が1年合計73年お世話になっております。心から深く感謝申し上げます。ニコニコします。（石川育成氏みたいに10万円とはいきませんが）
- ◆民部田義勇君…福井さんガンバレ！
- メーキャップ
 地区＝岡村君。盛岡北 R.C.＝星・田中・山岸・大見山君。盛岡西 R.C.＝千葉・熊谷（祐）・村井（良）君。盛岡中央 R.C.＝金子君。盛岡滝ノ沢 R.C.＝佐藤（義）・若松君。クラブ委員会＝伴君。

出席報告 □ 会員数 / 66 名 □ 出席数 / 50 名 □ 出席率 / 80.65% □ 前々回修正出席率 / 85%

プログラムの
お知らせ

- ・ 3 月 1 日（金）新入会員卓話 市丸清志会員
 「自然災害リスクと保険」
- 8 日（金）環境保全ポスター表彰式

- 本号編集担当 / 菊池 尚
- 次号編集担当 / 嘉本 孝志